



**芳賀 猛 (HAGA Takeshi)**

東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授

東京大学農学部畜産獣医学科卒業、  
東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。  
農学博士 (東京大学)。

---

米国カルフォルニア大学サンフランシスコ校研究員、医薬品副作用被害救済研究振興調査機構研究員 (京都大学ウイルス研究所)、宮崎大学農学部獣医学科助手、助教授、准教授を経て、2012 年より現職。

専門はウイルス学、動物感染症学。ウイルス性発ガンを含む遅発性感染症など、感染症発症機序に関する研究、感染症制御のための研究、病原体検出法の開発などを行っている。人・動物・環境と多岐にわたって大きな影響を与えうる獣医学領域の感染症について、科学リテラシー向上に貢献するような研究を目指している。

主な著作に、『獣医微生物学実験マニュアル』(チクサン出版社、2009:共著)、『牛病学 第三版』(近代出版、2013:共著)、『コアカリ 獣医微生物学』(文英堂出版、2015:共著)、『コアカリ動物感染症学』(近代出版、2016:共著)。

国際ウイルス分類委員会 (ICTV) パピローマウイルス研究部会委員、農林水産省 食料・農業・農村政策審議会 家畜衛生部会 牛豚等疾病小委員会 専門委員、馬防疫研究会 馬伝染性貧血清浄度評価専門会議専門委員、日本空気清浄協会 バイオハザード対策専門委員会委員、東京都 家畜保健衛生所 整備検討委員会委員 等。

OIE (World Organization for Animal Health) 世界獣医学教育会議において、「アジア太平洋地域における獣医学教育」についての招待講演、また、アジア獣医大学協議会 (Asian Association of Veterinary Schools) において、「日本の獣医学教育」についての招待講演などがあり、日本の獣医学教育の改善と国際通用性の対応にも取り組んでいる。